



【二人三脚・三人四脚】

- 能力差が出にくく、特別な用具を必要としない。
- 動きの良し悪しを自覚しやすい。
- 同じ動きであっても、人数が増えることで難易度が格段に上がる。



何を学ぶか(学習内容)

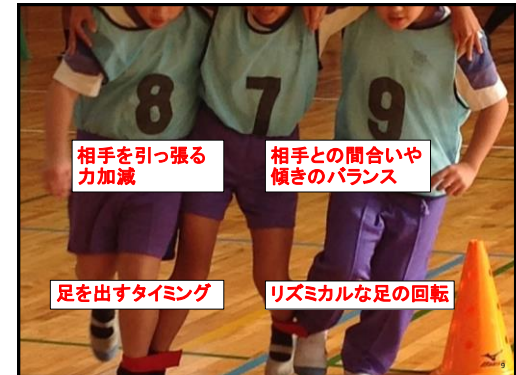
体の一部を制限



人や環境の変化に対応

体の動きを高める

- ・ タイミング
- ・ リズム
- ・ バランス
- ・ カ加減



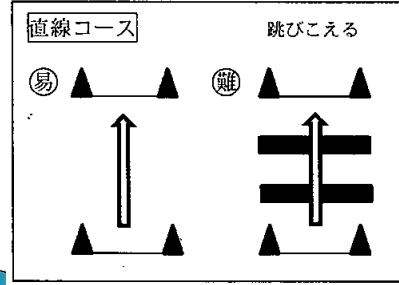
教師のしかけ

- 集団づくり
- 授業形態
- 動きの習得

集団づくり



授業形態



動きの習得

The poster is titled "6年生の絆を深めよう!" (Let's deepen the bonds of 6th graders!). It provides instructions for a game involving three people. The main text says "だれとでもできる 二人三脚・三人四脚" (Anyone can do it! Two people, three feet / Three people, four feet). The steps are: ① 結ばずに (Don't tie), ② 歩く (Walk), ③ 走る (Run). A note at the bottom says "☆どの並びも必ずやってみる。" (☆Try every arrangement!).

| 二人三脚・三人四脚 次順表 | | |
|--|--|--|
| ・かけ声でリズムをとる。(二ノコ) ・肩をしっかりと肩組してはばを少なくする。(二ノコ) ・始めに出す足を決めておき、下げる。(二ノコ) ・跳ぶときや歩幅は、甲の人に合わせる。(三ノコ) | | |
| 直進コース | 回旋コース | ジグザグコース |
| ・よりまでの歩数を数える。 ・必ず直進コースにスタート位置を合わせる。 ・とぶときや歩幅は、甲の人に合わせる。 | ・腰を高く、できるだけ正確に歩幅を合わせる。 ・内側の人はしっかりと歩幅を大きく、外側の人はしっかりと歩幅を小さく、両脚を肩幅が互いに合うように合わせる。 ・歩幅は大きく、出来るだけ直進コースに合わせる。 | ・内側の人はしっかりと歩幅を大きく、外側の人はしっかりと歩幅を小さく、両脚を肩幅が互いに合うように合わせる。 ・歩幅は大きく、出来るだけ直進コースに合わせる。 |

本時

The diagram shows a 'ジグザグコース' (Zigzag Course) with '易' (Easy) and '難' (Difficult) icons. It illustrates a path that zigzags between two parallel lines. To the right, a photograph shows three children in blue uniforms performing the activity on a gymnasium floor.

子どもの困り感



曲がるときにふくらむ



直進にきりかえるタイミングがそろわない。

- 直線と回旋の工夫の振り返り
- 上手なグループの動き





回旋コース ※周回を数える。

易

難

20

せーの！

直進の入り口は一直線

21



成果と課題

○ 相手意識の向上

この日は、最初は曲がることも意識して、タイムもかかるし、ポイントも合いません。始めは身体が硬いので、少し多めに曲がるように練習したり、お尻が引かれ、お尻と距離し、どう動くか意識して、お尻を引くように練習しました。

お尻を引くように練習したら、お尻が引けたら、お尻を引くように練習しました。

23

○ 動きの習得

曲がった時の動きのタイミングは場所を決めておいて、お尻を引くように練習しました。お尻を引くように練習したら、お尻を引くように練習しました。

タイムにかかるとお尻を引くので、お尻を引くように練習しました。

24

● 深い学び

タイムの
扱い方



25

休み時間の児童の様子



26



ご清聴ありがとうございました。

27